

自らに引き寄せて読み、発展的に考える力をつける
ープレ学習「近似思考体験」で自らに引き寄せて読もうー
ー発展学習「ミニディベート」で自らの考えを深めようー

- 1 科目名 現代文B
 2 単元名 評論（一）
 3 教材名 「わたしー日本語表と裏ー」（森本哲郎）
 4 単元の内容

単元の目標
と評価規準
・評価方法

①単元の目標

- ア 本文を自らの経験や知識を踏まえて自らに引き寄せて主体的に読み、発展的に考えようとしている。（意欲・関心・態度）
 イ 論の展開に即して、適切な自らの体験や知識を引き出しながら正しく読み、論旨、主張を的確に捉える。（読む能力）
 ウ 読み取った論旨、主張に照らして自らの生き方、考え方を深める。（読む能力）
 エ 語句の意味、用法などを正しく理解し、語彙を豊かにする。（知識・理解）

②単元の目標設定の理由

- ・3年生の5月で、進路決定に向けて動き出すときであり、その決定には自己と向き合うことが大きな課題となる。さまざまな評論を自らに引き寄せて読み、その論旨・主張に照らし合わせて、自己を見つめ、自己の生き方、在り方を深め、的確に言語化する、その方法論を獲得するために、この活動と目標を設定した。

③中心となる活動

◎プレ学習<近似思考体験>

- ・本文を読み解くために、本文の展開に沿った近似の思考体験をし、本文のテーマ（話題）を理解するとともに、単元の目標と学習課題を確認し、本文を自ら読もうとする主体性を引き出すため、ワークシートに基づいたバズセッション形式のプレ学習を行う。

◎発展学習<ミニディベート>

- ・筆者の言うところの、日本人の自己の捉え方、生き方と欧米人の自己の捉え方、生き方、それぞれの立場に立ち、ミニディベートを行う。

○ミニディベートのやり方

- ・2列ごとに向き合い、全員一斉に一对一で行う。
- ・1回、立論（1分）×2、自由討論（3分）の5分の討論を、相手を変えて3回行う。
- ・1回目と2回目は指導者の指示により立場を変え、3回目はじゃんけんて勝った方が立場を選び、行う。

④言語活動の工夫

◎プレ学習<近似思考体験>

- ・本文の展開に沿った近似の思考体験をすることで、自らの体験にすりあわせて本文を読む、自らに引き寄せて読むことができ、本文の多少難解な表現や語句への抵抗感が減り、本文の読み取りがスムーズになる。
- ・本文の展開に沿った近似の思考体験を通して、筆者の提示する話題に「なぜだろう?」、「知りたい」という興味、関心を抱かせることで、本文を自ら読もうとする主体性を引き出すことができる。
- ・一人で考え、グループで交流し、全体発表、交流へとステップを踏むことで、自らの考えを発表する、広げ、深めることをより容易にすることができる。

◎発展学習<ミニディベート>

- ・自らの考えとは違う立場に立つこと、相手の意見を聞くことで、ものの見方や考え方が広がり、その広がりをもって再度、自らを見つめ、考えることで、ものの見方や考え方を深めることができる。
- ・全員一斉、一对一のミニディベートとすることで、聴衆を意識せず、気楽に討論できる。
- ・2回目、3回目の討論は、相手と立場を変えて行い、その前の回までに相手が主張したことを自らの立論に取り入れてもよいとすることで、自らの考えがなかなか持てない生徒の討論を楽にするとともに、自らの考えを広げ、深め、より発展的な討論ができる。
- ・立場を変えて討論することで、二つの違う考え方を深くとらえることができる。

⑤評価

項目	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心 意欲 態度	①本文を自らに引き寄せ、主体的に読もうとしている。 ②自分の考えを持ち、積極的に交流、討論している。	観察 (机間指導・発表) 点検 (ワークシート)	・本文の読解の前にプレ学習の内容を再確認する。 ・交流、討論で得た仲間の意見を取り入れて自らの考えを深めるよう促す。
読む 能力	①ワークシートに、筆者の論旨、主張「日本人と欧米人の自己のとらえ方と生き方」が的確にまとめられている。 ②ワークシートに、討論を受けて考えたことが、発展的にまとめられている。	観察 (机間指導・発表) 点検 (ワークシート)	・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。 ・考えの違う何人かの生徒に発表を求め、参考にするように指導する。
知識 理解	①語句の意味を自らの言葉で説明し、例文を作ることができる。	発表	・発表を板書し、理解を促す。

成果と課題

資料のページ 【生徒の自己評価と一言感想】 ・ 【指導者まとめ】 参照

アドバイス
及び
留意点

- ◎プレ学習<近似思考体験>
 - ・本文の展開に沿った近似の思考体験の内容は、生徒の身近な内容、できれば、既に体験している、知っている内容から思考を引き出せるものとし、筆者の提示する話題に、筆者の主張に繋がる「なぜだろう?」、「(筆者の考えが)知りたい」という興味、関心を引き出す活動にすることがポイントである。
 - ・「なぜだろう?」について考える場合は、答えを出すのではなく、いくつかの意見を列挙するにとどめ、果たしてどうなのか、筆者はどう考えているかと、生徒の興味、関心を喚起することがポイントである。
 - ・【参考②】にいくつかの文章のプレ学習のワークシートを載せておく。参照されたい。
- ◎発展学習<ミニディベート>
 - ・ワークシートで事前に日本人、欧米人のどちらの考え方も支持する意見を書かせることで、スムーズに討論に入ることができた。
 - ・相手を変えることは、2列のうちの一方向の席を一つずらすことで行った。
 - ・3回目をじゃんけんで立場を決めさせたことで、ゲーム感覚を刺激し、活動が盛り上がった。
 - ・全員一斉で対一の気楽な討論とはいえ、討論や人と向き合って話すことに抵抗感を抱く生徒もおり、また、一対一だからこそ人間関係によっては難しいペアもあり、生徒やクラスの状態を見極め、適切な配慮が必要である。
 - ・当单元「わたし」だけでなく、二項対立の文章单元において応用が利くだろう。現代文だけでなく、古文の「兼好法師ことばのあげつらひ(玉勝間)」漢文の「漁父辞」や「思想(儒家・道家・法家)」など古典分野でも応用できよう。

小中学校との
系統性

- ◎プレ学習<近似思考体験>
 - ① (中学校・第2学年・読むこと)
エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。
- ◎発展学習<ミニディベート>
 - ① (中学校・第1学年・読むこと)
オ 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げること。

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応
1 本時 ◎ プレ学習	<p>○単元で読み解くこと、考えることを理解する。</p> <p>○難読語の読みを確認し、重要語句の意味を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのものに国によって言葉の数が違うことを体験し、なぜそのような違いがあるのか、考える。 (ワークシート・グループ交流・全体交流) ・日本語と英語の一人称を書き出し、日本語に一人称が多い理由を考える。 (ワークシート・グループ交流・全体交流) ・単元の学習目標と学習課題を理解する。 (ワークシート) ・範読を聞き、難読語の読みを確認する。 ・重要語句の意味を確認し、例文を作る。 (挙手による発表) <p style="text-align: center;">【エ・言エ】 [ワークシート<プレ学習>] [自己評価シート] (毎時間)</p>	<p>①ワークシートがまとめられている。 ↓ 【関】 観察 (交流・発表) 点検 (ワークシート)</p> <p>②重要語句を用いた適切な例文が作られている。【知】 ↓ 観察 (発表) 点検 (ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を板書し、理解を促す。 ・例文を個別に添削する。
2	<p>○第一段落、第二段落の主文を見つける。</p> <p>○第一段落、第二段落の筆者の主張を理解し、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主文の表現について考え、理解する。 ・第一段落を音読する。(指名読み) ・音読を聞きながら、主文を見つけ、線を引く。 ・主文を確認し、筆者の考えを理解する。 (指名発表) ・第二段落を音読する。(指名読み) ・音読を聞きながら、主文を見つけ、線を引く。 ・主文を確認し、筆者の考えを理解する。 (指名発表) <p style="text-align: center;">【ア・言イ】 [板書例]</p>	<p>①第一段落の「言葉の多様さは関心の高さである」という筆者の主張を指摘できる。【読】 ↓ 観察 (机間指導・発表)</p> <p>②第二段落の「日本語に一人称が多いのはなぜか」という筆者の提示を指摘できる。【読】 ↓ 観察 (机間指導・発表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例やプレ学習の内容を確認し、理解を促す。 ・日本人と欧米人の自己主張の強さを考え、日本語の一人称の多さ(関心の高さ)との矛盾に気付かせる。
3	<p>○第三段落、第四段落の主文を見つける。</p> <p>○第三段落、第四段落の筆者の主張を理解し、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主文の表現について考え、理解する。 ・第三段落を音読する。(指名読み) ・音読を聞きながら、日本人、欧米人の考え方がまとめられている箇所に波線を引く、主文を見つけ、傍線を引く。 ・日本人、欧米人の考え方がまとめられている箇所を確認し、違いを理解する。 (指名発表) ・主文を確認し、筆者の考えを理解する。 (指名発表) ・第四段落を音読する。(指名読み) ・音読を聞きながら、主文を見つけ、線を引く。 ・主文を確認し、筆者の考えを理解する。 (指名発表) <p style="text-align: center;">【ア・言イ】</p>	<p>①「欧米人は自己を実体的に、日本人は自己を機能的にとらえている」という筆者の主張が指摘でき、説明できる。【読】 ↓ 観察 (机間指導・発表)</p> <p>②「日本人は自己を顧み、他者と協調して生きる」という筆者の主張が指摘できる。【読】 ↓ 観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理解が難しい箇所を確認し、具体例を挙げるなど、かみ砕いて説明する。 ・理解が難しい箇所を確認し、具体例を挙げるなど、かみ砕いて説明する。

		[板書例]	(机間指導・発表)	
4 本時 ◎ 発展 学習	○筆者の論旨、主張から、ミニディベートを通して発展的に考え、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の論旨（主張）「日本人と欧米人の自己のとらえ方、生き方」をまとめる。（ワークシート） ・筆者の論旨に照らして、自らの生き方（今、あこがれ、将来）を見つめ、考えてまとめる。（ワークシート） ・筆者の日本人と欧米人の考え方における論旨に対して、それぞれの弁護人として支持する意見を列挙する。（ワークシート） ・日本人、欧米人それぞれの立場に立ち、ミニディベートをする。 ・ミニディベートを踏まえて、再び、自らの生き方を考え、まとめる。（ワークシート・発表） <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再び考え、まとめるにおいては、考えは変わっても、より固まっても、また、迷いがでて、それが深まりであることを伝え、活動を促す。 ・自らの生き方のまとめの発表においては、挙手を中心としながらも、 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の生き方を支持する ・欧米人の生き方を支持する ・日本人、欧米人折衷を支持する ・考えが変わった ・考えは変わらず、より固まった ・迷いがでてきた <p>など、バリエーションのある発表を指名でも発表させるとよい。</p> <p style="text-align: right;">【ウ・言イ】 [ワークシート<発展学習>]</p>	<p>①ワークシートに、筆者の考え「日本人と欧米人の自己のとらえ方と生き方」が的確にまとめられている。【読】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>観察 (机間指導・発表) 点検 (ワークシート)</p> <p>②ミニディベートで積極的に討論している。【関】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>観察 (机間指導)</p> <p>③ワークシートに、討論を受けて考えたことが、発展的にまとめられている。【読】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>観察 (机間指導・発表) 点検 (ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。 ・1回目終了時に、2回目以降は、相手が主張したことを取り入れて討論してもよいことを伝える。 ・考えの違う何人かの生徒に発表を求め、参考にするように指導する。

6-① 第1時の学習指導案

本時の位置	1時間目（全4時間）		
本時の学習目標	<p>ア積極的に交流し、考えを広め、深めている。（意欲・関心・態度） イ自らの体験や知識を引き出し、プレ学習の課題を考えながら、本文の話題にたいして「なぜだろう？」という疑問を持つ。（読む能力） ウ単元の目標や学習課題を確認する。（読む能力）</p>		
事前の準備	<p>①ワークシートを用意する。 ②グループ交流のグループを決めておく。</p>		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□本時の学習目標を確認する。	<p>①本時の目標が、「単元の目標、学習課題を確認する」「難読語の読みや重要語句の意味を理解する」ことであることを確認し、自己評価シートに記入する。 （自己評価シート）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元自己評価シートを配布する。 ・ワークシートを配布する。
展開 40分	<p>□プレ学習の課題を考える。</p> <p>□単元の目標や学習課題を確認する。</p> <p>□難読語の読みと重要語句の意味を確認する。</p>	<p>②日本語の「稲」、「米」、「飯」に当たる英語を答える。 （ワークシート・発表）</p> <p>③日本語の「牛」に当たる英語を答える。 （ワークシート・発表）</p> <p>④言葉の数が国によって違うのはなぜか、考える。 （ワークシート ・グループ交流・発表）</p> <p>⑤日本語と英語の一人称を列挙する。 （ワークシート・発表）</p> <p>⑥なぜ日本語に一人称が多いか、考える。 （ワークシート ・グループ交流・発表） ＊疑問を抱かせることが主であり、正解は求めない。</p> <p>⑦難読語の読みを確認しながら、範読を聴く。</p> <p>⑧重要語句の意味を確認し、いくつかの語について例文を作る。</p>	<p>目標アに対する評価規準と評価方法 [規準] 自らの考えを持ち、積極的に交流している。 [方法] 観察（机間指導・発表） 点検（ワークシート） [状況Cの生徒への手だて] ・何人かの生徒に発表させ、考えるヒントを与えるとともに、全体交流内容を要点をまとめて板書する。</p> <p>目標イに対する評価規準と評価方法 [規準] ワークシートに、言葉の数が国によって違う理由について自分の考えを書いている [方法] 観察（机間指導・発表） 点検（ワークシート） [状況Cの生徒への手だて] ・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。</p> <p>目標ウに対する評価規準と評価方法 [規準] ワークシートに、単元の目標と学習課題がまとめられている。 [方法] 観察（机間指導） 点検（ワークシート） [状況Cの生徒への手だて] ・単元の目標と学習課題を板書する。</p>
まとめ 5分	□本時のまとめと、次時の学習活動を確認する。	<p>⑨本時の活動の自己評価と一言感想を自己評価シートに記入し、感想を発表する。</p> <p>⑩次時の単元を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートと自己評価シートを回収する。
次時に活かすこと			

6-② 第4時の学習指導案

本時の位置	4 時間目 (全 4 時間)		
本時の学習目標	ア論旨に照らして、自らの考えを持ち、積極的に討論している。(意欲・関心・態度) イ筆者の主張や論旨を的確にまとめる。(読む能力) ウ論旨に照らして、自らを見つめ、自分の生き方、考え方を深め、まとめる。(読む能力)		
事前の準備	①ワークシートを用意する。 ②ミニディベートの組み合わせ(配慮すべきことを点検し、やり方)を決めておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□本時の学習目標を確認する。	①本時の目標を確認し、自己評価シートに記入する。 (自己評価シート)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元自己評価シートを返却する。 ・ワークシートを配布する。 *本字の目標…読み取った主張や論旨から、自らを見つめ、自らの生き方、考え方を深める
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> □読み取った筆者の論旨をまとめる。 □筆者の論旨に照らし、また、ミニディベートを通して、自らを見つめ、自らの生き方、考え方を深め、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③筆者の論旨(主張)「日本人と欧米人の自己のとらえ方、生き方」をまとめる。 (ワークシート) ②筆者の論旨に照らして、自らの生き方(今、あこがれ、将来)を見つめ、考えてまとめる。 (ワークシート) ③筆者の日本人と欧米人の考え方における論旨に対して、それぞれの弁護人として支持する意見を列挙する。 (ワークシート) ④日本人、欧米人それぞれの立場に立ち、ミニディベートをする。 (ミニディベート) ⑤ミニディベートを踏まえて、再び、自らの生き方を考え、まとめる。 (ワークシート・発表) 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標アに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 自らの考えを持ち、積極的に討論している。</p> <p>[方法] 観察(机間指導) 点検(ワークシート)</p> <p>[状況Cの生徒への手だて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目終了時に、2回目以降は、相手が主張したことを取り入れて討論してもよいことを伝える。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] ワークシートに、筆者の考え「日本人と欧米人の自己のとらえ方と生き方」が的確にまとめられている。</p> <p>[方法] 観察(机間指導・発表) 点検(ワークシート)</p> <p>[状況Cの生徒への手だて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標ウに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] ワークシートに、討論を受けて考えたことが、発展的にまとめられている。</p> <p>[方法] 観察(机間指導・発表) 点検(ワークシート)</p> <p>[状況Cの生徒への手だて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの違う何人かの生徒に発表を求め、参考にするように指導する。 </div>
まとめ 5分	□本時のまとめと、次時の学習活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ⑦本時の活動の自己評価と一言感想を自己評価シートに記入し、感想を発表する。 ⑧次時の単元を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートと自己評価シートを回収する。 ・時間内に活動が終わらなかった生徒は、本日中に完成させ、翌日朝のSHR前までに提出するよう指示する。
次時に活かすこと			